

◆経済倶楽部講演会第4333回（6月5日）

ポストコロナ時代のライフスタイルと テクノロジ―

ジャーナリスト 佐々木 俊尚

- * ITの進化がミニマリスト生む
- * 切断されたサブライチエン
- * 移動するプレッパ―
- * ノマドの時代へ
- * 多拠点型の移動生活
- * 都市に地方化の動き
- * 地方は急速に都市化
- * 革新を生み出す都市
- * コロナ後のテクノロジ―
- * 一次産業とITの結合



柴生田 それでは開会いたします。

本日は、フリージャーナリストの佐々木さん
においていただきました。佐々木さんには5年
ほど前に一度おいでいただいたことがございま
す。1961年のお生まれで、早稲田大学を經
て毎日新聞社に入られ、10年間事件記者として
社会部を中心に活動されました。ペルーとカル
タソールの事件とか、テロ事件にも幾つか遭遇
され、オウム真理教の取材もされたことがござ
います。その後、ちよつと身体を壊されて休ま
れた後、毎日新聞社をお辞めになり、『アスキ
ー』の編集部でデスクをされ、現在フリーとし
てご活躍でございます。

佐々木 俊尚
ネット関係、それからテクノロジ―といった
ことを私どもとしては前回も伺ったわけござ

いますが、今回、コロナ禍でたいへんネット環
境も変化しております。そこで、コロナ後の
ネット社会あるいはテクノロジ―がどういうふ
うに変わっていくのかといったことを中心に今
日はお話を伺いたいと思います。

それではよろしくお願いたします。

佐々木 よろしくお願いたします。佐々木
俊尚です。

5年ぶりにこの経済倶楽部でのお話をいた
いたとき、当初、人工知能とかAIの話でもし
ようかなと思っていました。けれども、そのさ
なかにこのコロナ騒ぎが起きて、たぶん、ここ
で何かいろいろなりセットとか切り替えみた
いなことが必然的に起きるであろうと。そうす
ると、AIの話はもちろんそれはそれで進んで